

- ・がま石トンネル、中塩原バイパス開通
- ・青木サッカー場オープン **8**
- ・那須塩原駅開駅30周年 **9**
- ・市除染センター開設
- ・平成25年 東京五輪開催決定 流行語「おもてなし」
- ・木の俣園地に巨岩吊橋と交流広場がオープン
- ・平成26年 御嶽山が噴火 消費税が8%に
- ・市内全小中学校にALT常駐配置 **10**
- ・平成27年 北陸新幹線開業
- ・那須塩原市合併10周年記念式典
- ・平成28年 ポケモンGOブーム 熊本地震発生
- ・黒磯駅東口広場完成 **12**
- ・オーストリア共和国リンツ市と姉妹都市締結 **13**
- ・平成29年 上野動物園パンダ「シャンシャン」誕生
- ・平成30年 築地市場から豊洲市場へ移転
- ・那須野が原開拓の歴史が日本遺産に認定 **14**

塩原温泉 開湯1200年記念祭

大同元(806)年に発見された塩原温泉。開湯1200年の記念祭と平成の温泉街の変遷を君島則夫さんに振り返ってもらった。

バブル時代は、平日も空室がないほどにぎわっていた塩原温泉。団体客が大型バスで訪れ、飲み屋や土産物店は人であふれ、街は活気に包まれていました。しかし、バブル崩壊とともに客足は減少。旅館を閉める人が徐々に始まりました。そんな中、平成18年に訪れた開湯1200年。「全盛期の塩原を取り戻せ」。観光関係者だけでなく、まちの全員が一致団結して塩原を盛り上げました。1200年前の平安時代の衣装を再現して温泉街を練り歩く平安絵巻や、流し踊り、そして山車やみこしの運行。その盛況ぶりは、今も脳裏に焼き付いています。その一部は、9月の古式湯まつりで平安時代の衣装で練り歩く分湯行列として今も続いています。



塩原温泉旅館協同組合 理事長 (塩原温泉観光協会 前会長)

君島 則夫 さん



その後の塩原の転換点は平成23年の東日本大震災。宿泊客が激減し、旅館を閉める人も急増。今の旅館数はピーク時の半分以下になってしまいました。しかし、歴史ある温泉街をなんとかしなくてはと、6年前に観光局を立ち上げました。プロモーションを充実させ、知名度は回復しつつあり、若い世代の人たちも頑張っています。

長期的には塩原温泉をハナモモの里にしようと、平成26年から取り組んでいます。塩原温泉街や八郎が原牧場、もみじ谷大吊橋に、住民の皆さんの協力で約2000本の苗木を植えることができました。手入れも大変ですが、春に一人でも多くのリピーターが増えるよう、毎年植栽を継続しています。新しい令和の年に、白や桃色の鮮やかなハナモモとともに、塩原温泉に良い時代が訪れてほしいです。

時が経っても変わらないもの

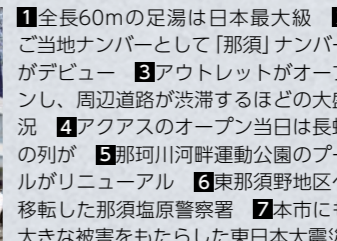
ポケベルからPHS、携帯電話、そしてスマホへと、平成の時代に飛躍的な進化を遂げた通信機器。テレビを囲んでの一家だんらんの光景は過去のものとなり、それぞれがスマホで動画を見たり、SNSを楽しんだりといった過ごし方が増えた。人との対面でのやり取りは減り、人のつながりの希薄化が懸念されている。

そんな中、いよいよ幕を開けた新時代「令和」。初春の佳き月、空気は清く澄み、風はやわらかくそよぐ。厳しい冬を乗り越えて春が訪れ、梅や蘭が咲き誇る。そんな意味が込められた万葉集の歌が元号の出典になっている。

今回実施した平成の節目の当時を知る3人へのインタビュー。そこで共通していたのは、愛する地域を守り、次の時代にバトンを渡そうとする情熱。そして、一緒に苦楽を共にし、汗を流してきた仲間への感謝。その一つ一つがこの地域に積み重なっていくことで、この地域にも穏やかな春のような良い時代が訪れることだろう。

これから時代が移り変わり、どれだけ技術が進歩したとしても、人は決して一人では生きていくことはできない。人々を思いやる気持ちや、大切な何かを守ろうとする思い。令和の時代も、さらにその次の時代も、そうした思いが消えることなく、引き継がれることを願いたい。

- ・平成18年 ライブドアショック ハンカチ王子ブーム
- ・ひたちなか市、滑川市と姉妹都市締結
- ・塩原堆肥センター、塩原温泉湯つ歩の里完成 **1**
- ・塩原温泉開湯千二百年祭
- ・那須ナンバー導入 **2**
- ・平成19年 「そんなの関係ねえ」が流行語に
- ・塩原庁舎新築移転
- ・地域バス「ゆくバス」運行
- ・平成20年 北京五輪開催
- ・那須ガーデンアウトレットオープン **3**
- ・平成21年 政権交代 裁判員制度スタート
- ・黒磯板室IC開通
- ・そすいスクエアAQUASオープン **4**
- ・国道400号大西バイパス開通
- ・平成22年 サッカーW杯南アフリカ大会
- ・那須塩原市合併5周年
- ・那珂川河畔運動公園プールリニューアル **5**
- ・那須塩原警察署が移転 **6**
- ・平成23年 女子W杯、なでしこジャパン初優勝
- ・東日本大震災発生 **7**



初春の令月にして、気淑く風和ぎ、
梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す

折しも、初春の佳き月で、空気は清く澄みわたり、風はやわらかくそよいでいる。梅は佳人の鏡前の白粉のように咲いているし、蘭は貴人の飾り袋の香りのように匂っている――

【新版】万葉集 一現代語訳付き (角川ソフィア文庫)

